



PRESS RELEASE

岡山大学記者クラブ加盟各社 御中

令和 7 年 10 月 14 日

岡 山 大 学

先天性心疾患の原因解明に挑む！岡山大学病院がクラウドファンディングを開始 ～未来の子どもたちの命を守るための全ゲノム解析プロジェクト～

◆発表のポイント

- ・先天性心疾患^{※1)}の成人患者数は国内で50万人以上と推定されており、その原因の解明や治療法の開発は急務となっています。
- ・先天性心疾患の原因を全ゲノム解析で追究するためのクラウドファンディングを開始しました。
- ・寄付の募集期間は12月19日（金）23時まで。税制優遇の対象となり、ウェブサイトから簡単に手続きできます。

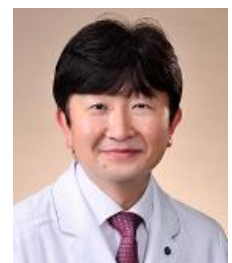
岡山大学病院心臓血管外科（科長・教授：笠原真悟）は、「先天性心疾患の原因解明と未来の医療への貢献」を目的としたクラウドファンディングを開始しました。先天性心疾患は約100人に1人が発症する生まれつきの心臓病であり、重症例では複数回の手術や生涯にわたる医療的支援が必要となります。国内では治療技術の進歩により成人患者が増加し、現在では50万人を超えると推定されています。本プロジェクトでは、患者さんから提供いただいた検体をもとに、全ゲノムシーケンス解析^{※2)}を行い、疾患に関連する可能性のある遺伝子の特定を目指します。これにより、原因不明の疾患の理解を深め、将来的な治療法開発や予防医療への応用が期待されます。

寄付金は解析費用のほか、クラウドファンディングに伴う諸経費や返礼品の制作・発送費用に充てられます。クラウドファンディングは「All in 方式」^{※3)}で実施され、寄付総額に応じて解析対象検体数を決定します。

◆研究者からのひとこと

岡山大学病院 心臓血管外科には国内外から多くの先天性心疾患の患者様が紹介され、治療が行われております。手術成績の向上とともに多くの患者様が社会復帰されており、近年では当施設を主幹として小児心筋再生医療も開始される予定です。

しかしながら、先天性心疾患の発生機序はいまだに不明です。これを解明することは将来における治療成績のさらなる向上や、発症予防にもつながる可能性があります。遺伝子の解析が先天性心疾患患児の皆さま、そしてご家族様の未来の福音となるよう、われわれも絶え間ない努力を続けます。皆さまのご寄付をどうぞよろしくお願い申し上げます。



笠原真悟教授



PRESS RELEASE

<現状>

先天性心疾患は、胎児期の心臓や血管の形成異常によって生じる生まれつきの心臓病です。国内では毎年約1万人の新生児が発症し、出生直後から集中治療や外科手術を必要とすることも少なくありません。医療技術の進歩により、多くの子どもが成長し、成人として社会生活を送ることが可能になりましたが、成人先天性心疾患患者の増加に伴い、新たな課題が浮き彫りになっています。

- 手術後も不整脈や心不全、再手術のリスクが続く
- 妊娠・出産時のリスクや、生活の質（QOL）への影響
- 原因が不明なままの症例が多く、再発予防や根治治療の確立が難しい
- 医療費・通院負担が長期にわたり、家族への支援体制も不十分

このように、患者と家族は長い時間にわたり医療・社会的支援を必要としています。笠原教授らは、こうした現状を踏まえ、「疾患関連遺伝子の特定こそが根本的な理解と治療につながる」と考え、全ゲノム解析を用いた研究に取り組めます。

<プロジェクト概要>

【募集期間】2025年10月6日（月）9時～12月19日（金）23時

【寄付の方法】 <https://readyfor.jp/projects/okayamaCVS>

クレジットカード、銀行振込、コンビニ支払いに対応。

【使用目的】全ゲノムシーケンス解析費用、関連経費（返礼品制作・発送含む）

【寄付の取扱い】寄付は国立大学法人岡山大学への寄付となり、税制上の優遇措置の対象となります。領収書は2026年4月ごろに発送予定、寄付日は岡山大学への入金日（2026年2月10日ごろ）となります。

未来の子どもたちの命を守るため、そして次世代型医療の実現に向けて、皆さまの温かいご支援をお願い申し上げます。

■補足・用語説明

- ※1) 先天性心疾患：生まれつき心臓の構造に異常がある病気。
- ※2) 全ゲノムシーケンス解析：人の全遺伝情報を読み取り、病気に関連する遺伝子を探す手法。
- ※3) All in 方式：目標金額に達しなくても、集まった金額に応じてプロジェクトを実施する方式。

<お問い合わせ>

岡山大学学術研究院医歯薬学域（医）心臓血管外科学
助教（特任） 門脇 幸子

（電話番号）086-235-7359 （FAX）086-235-7431

